

その10 出口

(平成6年5月1日号—第169号)

京阪光善寺駅から北西に向かい、国道1号を渡ったあたりから、出口の町並みが見えてきます。さらに西へ進むと、細い路地に面して幾つもの土蔵が立ち並ぶ古い家並みが、あちらこちらに見られます。

その一角に、京阪本線の駅名の由来ともなった光善寺があります。光善寺は文明7年(1475)に創建された由緒ある寺で、境内を右手に回ると石のさくに囲まれた高さ10メートルほどの「さ

いかちの木」が目に入ります。住職の話では、竜がその木を伝って天に昇ったという伝説があるそうで、現在は府の天然記念物に指定されています。

光善寺を後にして西へ歩き、住宅街を抜けると出口雨水幹線が見えてきます。この雨水幹線は、昔京街道がこの地を通っていたこともあって、淀川を背にして、歴史と豊かな自然を楽しむ水面廻廊[みなもかいろう]として生まれ変わる予定で、整備が進められています。



16 水面廻廊(桜町付近)



15 光善寺(出口2丁目)

目前に見える淀川の堤を越えると、広さ約19ヘクタールの淀川河川公園に出ます。休日になると、市民の憩いの場として、明るい声があちらこちらから聞こえてきます。

古きよき時代の竜伝説を残しながら、淀川の流れとともに発展してきた出口地区は、市民の憩う明るい町として変容しようとしています。